

### ■ 未来投資戦略2017（平成29年6月9日閣議決定）

- 金融EDIの推進等による金・商流連携の推進

金融機関におけるXML電文化について、来年中のXML新システム稼働と、2020年までのXML電文への全面的移行について着実に取り組む。

- XML新システム等のデータを活用した融資サービス・税務対応の容易化等

XML新システム等のデータを活用（商流情報分析等）した融資サービスや税務支援（XML新システムによる税務対応支援（電子領収書の発行等））を検討する。

### ■ 決済業務等の高度化に関するワーキンググループ報告（平成27年12月22日）

（アクションプランより）

- 平成30年（2018年）頃を目途に、全銀システムの加盟金融機関が参加する新しいシステムを構築し、サービスを開始する。

- 平成32年（2020年）までに、企業間の国内送金指図について、現行の固定長電文を廃止し、XML電文に全面移行する。

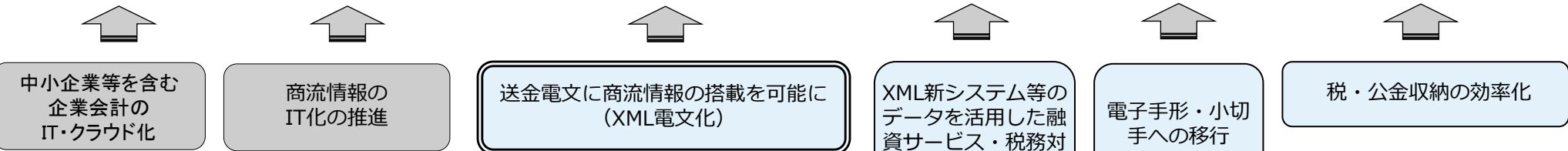
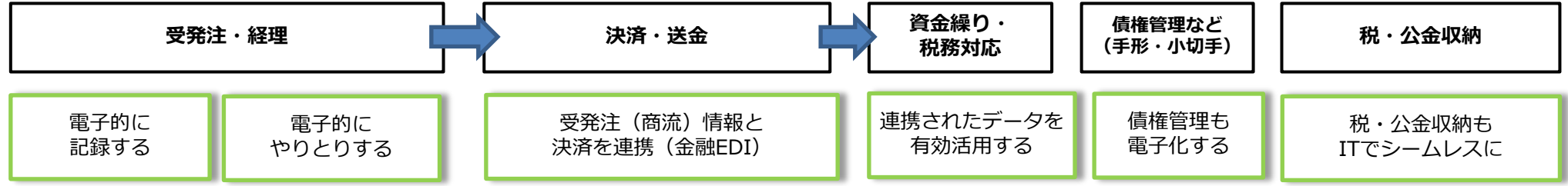
※ XML電文への移行対象は、エレクトロニック・バンキング／ファーム・バンキングおよびインターネットバンキングにおけるファイルアップロード、ダウンロード方式の総合振込、振込入金通知および入出金取引明細の電文。

# 金融EDI (XML電文) の導入を起点とした企業の財務・決済プロセス全体の高度化

(「企業の成長力強化のためのFinTechアクションプラン」等の取組み)

企業の財務・決済の川上（受発注や経理）から川下（決済や債権管理）プロセス全体がITで処理される

## フィンテック等を活用した企業の成長力強化



- 中小企業等のIT・クラウド化**
  - 中小企業等のIT・クラウド化率向上 (今後5年間)
  - IT導入支援事業(1万件超)(今年度中)
- 商流情報のIT化の推進**
  - 商流EDI共通化実証プロジェクト (今年度中)
  - ブロックチェーンによる決済・物流情報の管理の実証実験(今年度中)
  - XML新システムでの商流と金融EDIとの連携を検討 (今年度中)
  - XML新システム稼動 (来年中)
  - XML電文へ全面移行 (2020年中)
  - 商流情報の標準化項目の普及 (2020年度まで)
- 送金電文に商流情報の搭載を可能に (XML電文化)**
- XML新システム等のデータを活用した融資サービス・税務対応の容易化等**
  - XMLデータを活用した新たな融資サービス (2019年目処)
  - XML新システムによる電子領収書発行等の税務対応支援 (2019年目処)
- 電子手形・小切手への移行**
  - 官民の関係者による「電子化促進検討会」(今年秋頃)
- 税・公金収納の効率化**
  - 納付書様式の一元化やフィンテック企業の活用、ペーパーレス化の推進等を通じた、税・公金収納の効率化を図るため、官民一体で取組みを推進 (今後、地方自治体等にも連携を呼びかけ)

全銀システムの24時間365日対応化・法人のネットバンキング利用の促進

- 全銀システムの24時間365日対応化 (2018年中)
- 法人のネットバンキング利用の推進に向けた進捗状況のフォローアップ